

公立大学法人前橋工科大学の利益処分の考え方について

1 基本的な考え方

運営費交付金は、交付金に効率化係数を乗じており、あらかじめ効率化及び経費削減を図っていることから、生じた剰余金は、法人の経営努力によるものと幅広く認定し、法人の自主性と財務基盤の健全性の確保を図る。

2 利益処分の考え方

- ・法人の自主財源により生じた利益は、目的積立金とする。
- ・運営費交付金により生じた利益は、下表の整理を基本とする。

運営費交付金区分		考え方
標準運営費交付金		剰余金は、法人の経営努力によるものと幅広く認定する。
①	効率化対象経費 (消耗品、印刷製本費、旅費、備品、通信運搬費、光熱水費、修繕費、報酬、委託料、賃借料、保守管理費、非常勤講師旅費などの経常的経費)	剰余＝目的積立金
②	効率化対象外経費 (人件費)	剰余＝積立金 ※法人の自主的取組みによって生じた剰余は、その内容を踏まえて努力認定を行う。(職員給与の引下げ、職員配置の見直しなど)
③	効率化対象外経費 (研究費交付金)	剰余＝目的積立金
④	効率化対象外経費 (特殊要因経費)	剰余＝積立金 ※「大学入試センター試験実施事業」に係る剰余は目的積立金
特定運営費交付金		剰余なし
⑤	退職手当	剰余＝運営費交付金債務として翌年度繰越 (翌々年度要求時に剰余額を所要額に繰入れ)
⑥	入学料・授業料減免等分加算額	剰余＝運営費交付金債務として翌年度繰越 (翌々年度要求時に剰余額を所要額に繰入れ)

※目的積立金として整理すべき剰余のうち、事業未実施により生じた一定額以上の剰余は積立金として整理する。

3 上記を踏まえた平成27年度決算(100,125千円)

単位：千円

区分	金額	備考(主な内訳)
目的積立金	92,009	・歳入増 約51,000千円(授業料・入学金・検定料等)
積立金	8,116	・人件費における剰余

積立金の累計額

区分	H25	H26	H27	取崩し	合計
目的積立金	60,851	97,125	92,009	▲14,488	235,497
積立金	70,166	8,349	8,116	—	86,631
合計	131,017	105,474	100,125	▲14,488	322,128

## (参考)

## ◎平成27年度 予算と決算との比較(官公庁会計)

(単位:千円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	差額の主な説明
収入				
交付金収入	810,718	810,718	0	
補助金収入	0	10,227	10,227	補助金採択による増
学生等納付金収入	747,362	798,906	51,544	授業料の増 約34,000千円 入学金の増 約11,000千円 検定料の増 約6,000千円
財務収入	0	50	50	
雑収入	6,114	7,573	1,459	
受託研究費等収入	0	38,846	38,846	共同研究及び受託研究の増
寄附金収入	590	16,766	16,176	研究寄附金の増
間接費収入	3,330	6,327	2,997	
科学研究費補助金	0	21,090	21,090	科研費採択の増
前期繰越金	10,066	10,066	0	
計	1,578,180	1,720,572	142,389	
支出				
教育経費	143,450	123,588	△ 19,862	授業料減免等奨学費等の減
研究経費	81,508	74,227	△ 7,281	
教育研究支援経費	47,985	47,107	△ 878	
受託研究費等	0	32,602	32,602	共同研究及び受託研究の増
寄附金	0	11,448	11,448	研究寄附金の増
その他補助金	0	9,800	9,800	補助金採択による増
人件費	1,114,991	1,105,710	△ 9,281	
一般管理費	174,671	178,041	3,370	
科学研究費	0	22,405	22,405	科研費採択の増
予備費	15,575	0	△ 15,575	
計	1,578,180	1,604,933	26,748	
収支差引	0	115,639	115,639	

\* 決算の収支差引は官公庁会計のため、貸借対照表の当期未処分利益と一致しない。

## ◎学生数等の状況

- ・学生数 H27時点学部生数:1,190人 定員:1,068人
- ・受験者数 H28年度入学受験者数:1,166人  
入学手続者数:311人 入学者数:306人 定員:267人
- ・入学金 前橋市民:141,000円 前橋市民以外:282,000円
- ・検定料 学部生:17,000円